



<ベインキャピタル>

世界最大級のプライベート・エクイティ・ファンド(PE)会社である、ベインキャピタル。

PE(未上場企業の株式)、クレジット、パブリック・エクイティ(上場株式)、ベンチャー・キャピタル、不動産など多様な資産クラスへ投資し、経営のパートナーとして事業価値の向上を支援する会社であり、運用資産残高(AUM)は 2022 年末時点で約 1600 億米ドルに達する。

1984 年に経営・戦略コンサルティングファームのベイン・アンド・カンパニーのシニア・パートナーによって設立された。ただベイン・アンド・カンパニーとの法的・資本関係はない。創業者の中には、のちに米大統領選挙(2008 年、2012 年)に共和党から出馬したミット・ロムニー前マサチューセッツ州知事も含まれる。

創業以来、世界中で約 300 社へ PE 投資を行い、追加的な投資を含めると約 1000 社に上る。投資スタイルとしては、コーポレート・カーブアウト、非公開化、事業承継、共同投資、グロース・キャピタルなどを得意としており、約 1500 人を超える従業員を抱える。事業会社、経営コンサルティング会社、投資銀行、弁護士など多様な経歴を持つ約 550 人の専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事している。

米国マサチューセッツ州ボストンに本社を置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘンなど世界各地に 23 の拠点を持つ。日本では 2005 年の東京オフィス開設以来、国内で活動する PE ファンドとしては最大級の規模・陣容を誇る。2021 年には国内中堅企業への投資に特化した約 1100 億円の“日本ファンド”を立ち上げた。2023 年 2 月には大阪オフィスを開設する予定。

米国を中心とした海外での展開に加え、日本国内でも、消費財・小売、ヘルスケア、テクノロジー・メディア・通信(TMT)、製造業、サービスなど幅広い産業分野への投資実績を有している。

海外での主な取引事例は以下の通り。

- ・ 2005 年 12 月、カーライル・グループとトーマス・H・リー・パートナーズと共同でダンキンブランズをペルノリカルから 24 億 2500 万米ドルで買収することで合意。ダンキンブランズはダンキン・ドーナツ、バスキン・ロビンス(サーティワン・アイスクリーム)、トーゴーズの各ブランドで飲食店フランチャイズを展開
- ・ 2004 年 3 月、トーマス・H・リー・パートナーズやプロビデンス・エクイティ・パートナーズ等の投資家グループがタイム・ワーナーからワーナー・ミュージック・グループの買収を発表。2011 年にウクライナ系米国人資産家レン・ブラバトニク率いるアクセス・インダストリーズに約 33 億ドルで買収され非公開化。2020 年 6 月に IPO
- ・ 2010 年 10 月、米子供服小売ジンボリーを約 18 億米ドルで買収合意、非公開化
- ・ 2012 年 9 月、カーライル、アポロ、JP モルガン系投資ファンドなどが共同保有していた米映画館チェーンの AMC シアターズを大連万達集団に 26 億米ドルで売却
- ・ 2017 年 3 月、J.H. Whitney Capital Partners と Penfund と共同で aveanna healthcare を買収

- ・ 2018年10月、ファイザーとの共同パートナーシップを通じて Cerevel Therapeutics を設立
- ・ 2020年6月、経営破たんした豪航空会社ヴァージン・オーストラリア買収合意
- ・ 2022年10月、ヘルスケア・ライフサイエンス企業のシティウステックへの投資と戦略的パートナーシップを発表

日本での主な投資実績は以下の通り。

- ・ 2007年1月、サンテレホンを日本産業パートナーズ(JIP)と50%ずつ出資するJIP-Iによる株式公開買い付け(TOB)を実施、2012年12月、日東工業に売却
- ・ 2008年6月、ディーアンドエムホールディングスの株式公開買い付けを発表。同年12月に上場廃止。2017年3月、米国 SOUND United LLC に売却
- ・ 2009年12月、ベルシステム24:営業戦略の強化、コスト構造最適化、追加M&A戦略の立案、2014年7月、伊藤忠にベルシステム24の49.9%譲渡を発表。2015年11月上場(6183)
- ・ 2011年10月、すかいらーくを野村ホールディングス子会社などから全株式を、約1600億円で購入すると発表。その後、2014年10月に株式上場(3197)
- ・ 2012年7月、通信販売専門チャンネルのジュピターショップチャンネル(JSC)を買収し、アジア市場への海外展開、インターネットチャネル対応、顧客基盤・マーケティングの拡充を目標あげており、2016年全保有株式をケーブルテレビ事業大手のジュピターテレコム(JCOM)に売却
- ・ 2014年2月、インターネット調査会社マクロミル:オランダの同業他社の買収等による海外市場展開、新サービス開発等を提供し、2017年3月に上場(3978)を実現
- ・ 2015年3月、大江戸温泉物語:新規出店戦略の推進、マーケティングの強化、仕入購買・店舗オペレーション強化を含めたコスト最適、2016年8月、大江戸温泉リゾート投資法人として、上場成功(3472)。2022年1月、ローンスターに売却
- ・ 2015年4月、雪国まいたけにTOBを実施、同年6月に上場廃止。2017年に49%を米卸大手の神明へ株式売却し、2020年9月に再上場(1375)に成功
- ・ 2015年5月、日本風力開発:新規風力発電所の開発推進、メンテナンス体制の強化、資金調達最適化
- ・ 2017年12月、総合広告代理店アサツーディ・ケイ(ADK):特定の事業パートナーとの業務提携解消、構造改革支援、デジタル・コンテンツ戦略強化等「オープン・ネットワーク型」グループへの転換、成長分野投資等を支援
- ・ 2020年8月、医療・介護・保育事業ニチイ学館の経営陣と組み、MBOによる非公開化を実施し、財務管理体制強化、オペレーション改善、コスト構造最適化、M&A等のサポート
- ・ 2022年10月、日本産業パートナーズ(JIP)、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ(JIS)からなる日米ファンド連合による日立金属の株式公開買い付け(TOB)成立
- ・ 2023年1月、インパクトホールディングス(6067)の公開買い付けの開始を発表

参考資料:

- ・ Bain Capital homepage:
<https://www.baincapital.co.jp>
[Bain Capital](#)

【広告審査番号:AD2023024】